

COPD 患者におけるチオトロピウムに併用したインダカテロールの 臨床的検討

北 英夫、 佐渡 紀克、 片山 優子、 谷村 和哉、 深田 寛子、
金光 禎寛、 籾智 幸政、 千葉 渉
(高槻赤十字病院呼吸器センター)

【背景】：

COPD の現在のガイドラインでは中等症以上で気管支拡張薬の併用が推奨されている。新規の LABA であるインダカテロール(IND)は即効性と長期間効果が持続する特徴があり、チオトロピウム(TIO)との併用によりそれぞれの単剤治療より上乗せ効果が期待される。

【方法】：

今回我々は IDL 使用例をカルテより検討し、TIO との併用例での効果につき検討した。

【症例】：

TIO との併用例は 42 例(年齢 60-79 M:F 25:3)であり、24 例では IND を add-on、18 例では LABA(6 例)or ICS/LABA(12 例)から切り替えた。

【結果】：

add-on 例では CAT 呼吸機能、FOT(モストグラフ)の指標に有意な改善を認めた。切り替え例でも LABA からの切り替えでは CAT 肺機能は改善する傾向を認めた。ICS/LABA からの切り替えでも同等の効果を認めたが、2 例では増悪した。

【結論】：

TIO と IDL の併用はさらなる追加効果が期待できる。また、TIO と併用の LABA を IND に変更することは有用である可能性がある。TIO と併用の ICS/LABA を IND に変更しても症例を選択すれば同様の効果を得られる可能性がある。
